

25年卒就活、困り込み活発

夏のインターンシップ(就業体験)の募集や選考が本格化し、2025年春に卒業予定の学生の就職活動が事実上始まった。今年はインターンのルールが変更。企業側は一定条件を満たすとインターンで得た学生の評価を採用選考に生かせる直結型になった。い

「インターンに参加したほうが選考で有利になる」。早稲田大学3年の女子学生は5月からインターンに応募し、合計約30社にエントリーした。そのうち1社から合格通知が届いた。

大手金融や通信などを志望している。「夏休みはインターンばかりで遊ぶ時間はないが、いい会社に入るためには頑張るしかない」。空いた時間にはスマートフォンでSNS(交流サイト)などを開き、情報収集に励んでいる。

政府は従来、採用活動の開始前に企業がインターンで得た学生の情報に関し、採用に利用してはならないという考えだったが方針を

転換。「会社説明会「インターン」などの位置づけを明確にしたキャリア形成プログラムの4類型が示された。

このうち例える「汎用的能力・専門活用型インターン」は採用に直接関係する。一般的な就業体験では5日間以上、専攻分野を主とした専門的な内容は週間以上などといった条件をクリアすると、企業側はインターンでの学生の働きぶりなどの情報を採用の本選考に活用できるようになった。

こうしたルール変更により、学生側の動き出しも早まっている。就職情報会社のマイナビが7月に都内で開いたインターンイベント

夏のインターン「採用直結型」に 学生も始動、早期化に拍車

には前年比1.7倍の約7000人の学生が参加。3年生の3月に比べ、4年生の6月に選考を解禁する現状のルールとの乖離(かいり)が再び、就活の早期化につながっている。

マイナビが大学生に実施した調査で、学生の情報を採用選考に用いるインターンプログラムに参加したいと回答した割合が「すぐにでも参加したい」が最多で42.7%、「すぐにも参加したい」が36.8%だった。

学生優位の「売り手市場」が続く中、企業側は新ルール適用のインターンを有望な学生を確保する手段にもとらざるを得ない。学情が4月下旬に実施した企業の採用担当者らを対象にした調査では、新ルールの条件を満たすインターンについて61.5%が「対応を検討している」と回答し、10.7%はすでに対応しているとしている。

西武ホールディングスは今年から新たにコース別の

インターンを設け、9月に5日間の日程で実施する。新規事業の立案のほか、デジタルトランスフォーメーション(DX)の戦略などを扱う事業を体験する。募集は各コース3〜4人で面接などの選考を突破した人のみが参加できる。

東京海上日動火災保険は全国10カ所で実施する現場受け入れ型のインターンシップの期間について、従来の3日間から5日間に延長する。「期間の長さによって貴重なインターンプログラムを提供できる」と期待する。

ただ企業側からすれば、職場が受け入れる多様な体験型インターンは現場社員の負担が大きく、募集枠を簡単に増やせない。全ての採用枠をインターン経由のみとするのではなく、平行して例年通りの選考を実施する企業が大半だ。

大学側は冷静な対応を呼びかけている。中央大学では例年4〜5月から開催していたインターン説明会を3月に早めた。「インターンの枠が少なくなるのではないかと」不安を抱く学生への説明を徹底するためだ。

学習院大学も4月下旬、就職情報会社の担当者を講師として招いた説明会を開催した。新ルールについて詳しく解説。同大学の就職を希望する学生のうち約半数にあたる800人が参加する盛況ぶりだった。

学生の約6割 「厳しくなる」 民間調べ、慎重に選択

リクルートワークス研究所がまとめた2024年春卒業予定の大学生の求人倍率は1.7倍となり、23年春(1.58倍)から0.13ポイント上昇した。新型コロナウイルス禍からの経済回復と

慢性的な人手不足が要因で、大学生にとっての就職環境は改善しつつある。しかし、学生の就活への捉え方は異なる。就職情報会社のマイスコ(東京・文京)が5月、25年卒の学生を対象に就職戦線が自分より1学年上の先輩に比べて

なるのかの尋ねしを尋ねたら、「非常に厳しくなる」が16.3%、「やや厳しくなる」が42.8%で、合計で約6割が悲観的な見通しを示した。

不確実性の高い経済情勢が続く中、知名度や業績だけでなく「入社後に身に置く知識やスキルが何かを見極めたい」と、会社を選定する学生が増えている。「エン・ジャパン」新卒イロオts事業部長の田野圃陽介氏。こうしたニーズに応えるインターンプログラムを用意できるか、知恵を絞る必要がある。(鈴木洋介)

「意見・情報は電子メール nikkid@sex2.nikkei.co.jpへお寄せください。」

とろみのついた緑茶 — 東京大大学院

東京大学大学院医学系研究科イートロ医学講座は伊藤園と共同で、とろみのついた緑茶「とろみ緑茶」を開発した。適度なとろみで誤嚥(ごえん)を防止し、安心して水分補給できるようにする狙いだ。2022年11月28日から電子商取引(EC)サイトや一部ドラッグストア、病院売店などで販売している。



気管への流入防止補給

2000万人に達している。看護や介護の現場では、飲み物へのとろみ剤添加が負担となっている。とろみ剤は飲みこきを通るため、誤って気管に入りやすくなる。とろみ剤の計量やとろみの定着には5分程度かかる。とろみ剤が酸化して味が落ちるのも問題だった。

1杯入りで、希望小売価格は400円(税別)。施設などから1ト注文があるという。利用者からは「お茶を飲むことを諦めていたが飲むようになった」との声が寄せられているという。米永氏は「とろみ緑茶を介して高齢者のコミュニケーションが広がり、孤独を避けられるのではないかと。健康者もとろみ剤を飲みたい地帯を築いてほしい」と語る。

東京工業大学 未来の人類研究センター

最先端研究と人を融合

ターを20年、おとて理工系研究の中核であるIIRの組織内に誕生させた。文系のILHの教員とITクロスが特徴

1年ごとに様々な分野の研究者が入れ替わり、前任者の蓄積をベースにさらに異なる視点で研究を深める。

Table with market data, including stock prices and exchange rates. Columns include various market indicators and values.